

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた学校改善

取組 (4) 教員の資質・能力の向上

- ・ ロイロノート・スクール等の活用を通して、個に応じた習熟プリントの配信・添削による指導の個別化、学習の個性化を図るとともに、児童生徒同士で共同編集をしたり、他者の意見を学習の振り返りに活用したりして、協働的な学びに努めた。
- ・ クラウドシステムを活用して教材・教具の共有化を図った。
- ・ 校内研修や集合学習、欠席児童生徒の学習保障等で、遠隔システムを活用した。

成果

- ・ 「効果的な授業」の構築に向けて、ICTを積極的に活用することにより、教員のICT活用指導力が向上した。また、児童生徒の情報活用能力も飛躍的に向上した。
- ・ 遠隔システムに係る校内研修では、スムーズな遠隔学習のために欠かせない機器操作の習熟や効果的な教材提示、意見交流の仕方等についてスキルを高めることができた。



【他校とのオンライン交流】

質の高い教育活動を持続的に行う働き方改革の実施

取組

(3) 業務の効率化に向けた取組の充実

- ・ タブレット端末を活用した提示教材の準備を行った。
- ・ 大型モニターによる動画資料の活用を図った。
- ・ 探究活動が効果的になるよう、校務パソコンを活用して、事前にインターネットのサイト情報を整理した。
- ・ 校務支援システムの活用を促進し、「掲示板機能を活用した効率的な連絡調整」「行事予定掲示の電子化」「学習指導要録、通知表、出席簿等の電子化及び一元管理」に取り組んだ。
- ・ 会議のペーパーレス化、学校安心メールによる迅速な周知、ロイロノート・スクールによる健康観察、Microsoft Formsによるアンケート集計等、ICTの効果的な活用を進めた。
- ・ 計画的な打合せにより、児童生徒と向き合う時間を確保した。

成果

- ・ 短時間で効果的な教材準備が可能となった。
- ・ 職員間の連絡調整がスムーズになった。
- ・ 校務全般において効率が上がった。
- ・ 時間外在校等時間の削減につながった。



【ススンde運動「ソーランサーキット」】